

第5回 健康研究推進会議 議事概要

日 時：平成21年6月3日（水）19:25～19:40

場 所：厚生労働省9階 省議室

出席者：野田内閣府特命担当大臣（科学技術政策）、塩谷文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、本庶総合科学技術会議議員、藤田内閣府政策統括官、磯田文部科学省研究振興局長、外口厚生労働省医政局長、細野経済産業省製造産業局長、その他オブザーバー

野田大臣より第5回健康研究推進会議の開催にあたって挨拶。

議題1 「健康研究推進戦略策定に向けた提言について」（報告）

○本庶議員より、資料1-1 および資料1-2に基づき、健康研究推進会議アドバイザーボードが策定した「健康研究推進戦略策定に向けた提言」について、以下のポイントを報告。

- ・我が国の優れたライフサイエンスの成果を医薬品・医療機器等として、いち早く国民へ還元する必要があること。
- ・10年先に目指す成果として、革新的創薬技術等の実用化など、5項目を挙げていること。
- ・そのために、早急に取り組むべき課題として、研究拠点の整備など、5項目を挙げていること。
- ・アドバイザーボードにおいて、今後とも専門的観点からの検討を行い、必要に応じて健康研究推進会議に提言を行っていくこと。

○藤田統括官より、本提言を受けての対応について以下のポイントを説明。

- ・6月中を目途に、関係府省で協力して健康研究推進戦略の案を策定すること。
- ・その後は、戦略を踏まえて、平成22年度の概算要求方針を作成すること。
- ・そして、関係府省が取り組んでいく方策及びそれに向けたロードマップを取りまとめること。

○舛添厚生労働大臣より、以下のような発言があった。

- ・アドバイザーリーボードによるすばらしい提言に感謝していること。
- ・橋渡し研究・臨床研究については戦略性を持って取り組むべきであり、基礎研究の強みを医薬品・医療機器として着実に社会還元することが必要。
- ・枠組みにとらわれず幅広く検討いただき、省庁の枠を越えて政府全体で取り組むべき課題が示され、厳しい経済情勢であるが、予算獲得に努力したいこと。

○塩谷文部科学大臣より、以下のような発言があった。

- ・戦略の策定とともに、具体的なロードマップを作成して、長期的視野に立って、戦略性を持って取り組む必要があること。
- ・文部科学省としても、大学等の優れた研究成果の実用化に向けて橋渡し研究の拠点機能強化、安全性・有効性の評価手法等の開発、人材の育成などに取り組んでいくこと。

⇒ アドバイザーリーボードによる提言や、今回いただいた意見を踏まえて、事務局にて健康研究推進戦略（案）を取りまとめることとした。

議題2 「先端医療開発特区（スーパー特区）の進捗について」（報告）

○藤田統括官より、資料2に基づき、以下のポイントを説明。

- ・スーパー特区の採択課題決定後の主な取組状況。
- ・スーパー特区の平成21年度の新たな関係予算。
- ・スーパー特区の平成21年度補正予算。
- ・スーパー特区における薬事上の課題抽出及び対応に向けた調査研究。

○舛添厚生労働大臣より、以下のような発言があった。

- ・スーパー特区のための予算の確保と薬事相談会の開催など、積極的に取り組んでいること。引き続き、関係府省と連携して努力したいこと。

⇒ 今後とも、スーパー特区の推進に向けては、関係府省が一体となって精力的に取り組んでいくこととした。

以上